

# ハ乙女

## 成人おめでとうございます

蓬菜のお軸やはたち祝われる

富田みゆき



### 利他の心

南砺市議会議員  
才川 昌一

あけましておめでとうございます。

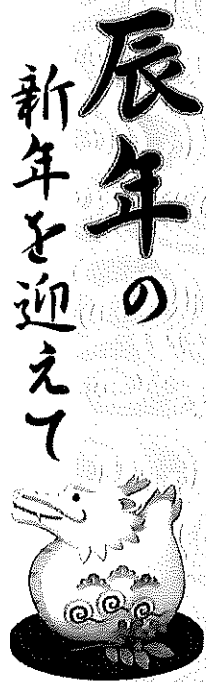
昨年は大変な災害が起こり、日本人なら誰もが忘れることのできない年となりました。

そして、誰もが人と人とのつながりを大事にしていきたいと思うようになりました。これまでは、自分だけがよければという個人主義が横行していましたが、最近、若い人の中に利他という言葉が広まってきていると聞きました。利他の心とは、『自分以外の他人を利する心のこと』をいいます。

利他の心が起こる理由として、震災により人と人とのつながりを大事にすることはもちろんですが「他人に親切にすると自分も気持ち良くなり、他人に意地悪をすると自分も嫌な気持ちになる」との思いから、人から好かれるようになるため、あるいは人から嫌われないようにするために、「利他の心」が起こると思います。

もう一つは、「人に情けをかけておけば、めぐりめぐって自分にもよい報いが来る」とか、「人に親切にしておけば、必ずよい報いがある」といった「親切な心」がめぐりめぐって、人々の間に浸透すれば、犯罪や争いごとが無くなって社会が平和になり、ひいてはそれが自分の利益にもなる、ということかも知れませんが、しかし、このことは利他の行為をすれば直接的であれ間接的であれ、何かしら自分により報いが返ってくるというものです。「報い」がまったく返らなかつたとしても、自分が生きて存在することの意義を確認するためにも「利他の行為」は大きな意義のあることと思えます。そういった意味で誰もが利他の心を持つことが大事であると思う年初めであります。

今年も変わらず、御指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方がご健康で御多幸であらんことを心より御祈念いたします。



# 辰年の 新年を迎えて

## 今年がんばりたいこと

吉田 海音  
(平成12年生)



ぼくは三年生から井波ジュニアレーシングに入っています。練習は寒くてきついけど、スピードのつって滑っている時はとても楽しいです。去年、あと0.01秒差で入賞できなかった大会もあつたので、今年はおつともつと練習しているんな大会でたくさん入賞できるようにがんばりたいと思います。それからぼくは教科の中で社会が一番好きなので、今年はいろんな事を調べたり聞いたりして社会をがんばりたいです。六年生になったら歴史の勉強もするのでとても楽しみです。

## 新年の目標

岩崎 志織  
(昭和63年生)

今年幼稚園の仕事を始め



て4年目の年になります。学生時代は教えてもらう立場でしたが、今は子ども達を指導し手本を示さなくてはいいけない立場になりました。最初は、保育者として子ども達に関わる難しさを感じていました。しかし、この3年間で先輩の姿や子ども達と毎日接する中で、少しずつ保育者らしくなってきたと思います。まだまだ学ばなければいけないことはたくさんありますが、笑顔で乗り越えていきたいです。そして2012年はより素敵な保育者を目指していききたいです。

## 新たな気持ちで

篠原 純也  
(昭和51年生)



新年を迎え4回目の辰年を怪我病気もなく迎えられる事を嬉しく思っています。

います。昨年一年間は、皆さんもいろいろな所で東日本大震災を見たり聞いたりされた事と思いますが、改めて家族、近所地域の繋がり、絆が大事なんだと気がかされました。年齢的にも、二十代には無かった仕事、地域に対しての役割が増えてくるとは思いますが、より良く着実にこなしていける様、周りの皆さんの協力ご指導を得て新たな気持ちで努力して行きたいと思えます。

## これからの人生

澤田 謙一  
(昭和51年生)



今年で現在の会社に勤め十五周年を迎えます。

年齢とともに責任ある立場を任せられて忙しい日々を送る毎日です。毎年数名の新入社員が入ってきます。その皆さんを見てみると素直に言われた事を覚えたりテキパキと行動する姿に刺激されています。今年も人生においても節目の年です。若い人たちのセンスや行動力を見習い、上司や先輩の経験や知識を自分ものにして会社に対して貢献したいです。

## 初心

小橋 雄一  
(昭和39年生)



昨年は、東日本大震災に襲われ犠牲者二万人を越える巨大地震、津波の悲劇と、原発事故も引き起こし、人々の暮らしを大きく揺さぶつた。避難区域から疎開を余儀なくされている住民は約十五万人。これからも長く、日本地図上に、歴史上かつてない空白が存在し続けることになる。

故郷を破壊され、異郷の地で暮らす膨大な数の人々のことを考えると、家族が故郷で健康に暮らせることが、いかに幸せなことであるか気が付かされました。辰年の節目にあたり、仕事に対してだけでなく、生きていく姿勢としての初心、初々しさというものをいっしょになつても大切にしていかなければならぬと、考えています。今後は会社以外のコミュニケーションを早め探し、少しずつシフトさせながら、微力で

はありますが地域、故郷の発展にも尽くしていきたいと思えます。

## 人とのつながり

澤田 恵美子  
(昭和39年生)



早、五回目の辰年を迎えるにあたり思う事

は「人とのつながり」が大切という事です。家庭、仕事、社会活動など人との関わりはなくてはならないものです。人と関わる事は難かしく思ったり、幸せに感じたりと色々な気持ちになるものですが、このつながりがとても大切だと思えます。私は人を支え、支えられ、人に感謝し、行雲流水のように過ごしていけたらと思っています。

## 「やる」「出来る」を前提に

谷田 隆司  
(昭和39年生)



月日が流れるのも早く、今年で五回目の節目を迎えました。こうして健康で迎えられる事は、家族や周りの皆さんに支えられてき

目を迎えました。こうして健康で迎えられる事は、家族や周りの皆さんに支えられてき

たお陰ととても感謝しております。

ここ最近のテレビやニュースを見て自身の行動などを考えさせられる事が多くあります。震災後の復興を目指している人達、大阪の建て直しに立上がった市長、チームで標を繋ぎゴールを目指す学生達の姿、それぞれの人達の姿を見ると年令を重ねたせい、保守的な見方や、やらない、出来ない理由を考える弱い面を持つ自分をとて恥かしく思います。

今年は、色々な面で活躍している人達に力を貰いながら「やる」「出来る」を前提に考え、行動していこうと思えます。



小橋 芳江 (昭和27年生)

### 感謝の心で

早いもので、六回目の年、還暦の年を迎えることになりました。若い時には、自分がそのような年令になるとは考えられませんでした。年を重ねることは平等です。昨年の東日本大震災に私達は驚愕し、一日も早い復興を願っております。また、昨年の震災直後に外

孫が生まれ、初めて「お婆ちゃん」になりました。このようにな小さな子がいるだけで周りが明るくなり、会話がはずみ笑顔になります。「小さな子」の偉大な力、「子は宝」としみじみ感じます。心身共に逞しく育つことを願っております。

さて、約60年間歩んでまいりましたが、今迄の自分は「感謝の心・思いやりの心」が不足していたと思っております。家族や親、職場や近所の方々等に感謝し、その心が伝わるように努力していきたいと考えております。再スタート後の人生は、今迄の経験が財産であり、生かせるよう日々を過ごしていきます。

### 絆を大切に

前田 恵美子 (昭和27年生)



月日のたつのは早いもので、同級生より少し遅れて私も還暦を迎えました。昨年の漢字は「絆」が選ばれました。我が家は四世代で八人家族です。上は83才から下は4才まで、毎日ワイワイにぎやかです。8才の孫が84才の父にオセロで勝つのは感心させられます。今年から少し年金がもらえる事にな

### 回想

池田 弥寿夫 (昭和15年生)



りました。減額されると言われていきますが、もらえる事に感謝しながら、地域へはもつと参加して家族とのふれあいを大切に、今年の漢字も「絆」にしたいと思えます。

昨年、東日本大震災は、多くの犠牲者を出し、自然の猛威は、今もなお人々の暮らしに深い傷跡を残しています。被災者の皆様の息災安穩と一日も早い復興を心より祈念いたします。我が家も平成に入り家屋が全焼しており、当時の落胆とやり場のない思いを重ねておりましたが、不自由な避難所生活の中にあっても、互いに手を取り合い支え合つてこの苦難を乗り越えようと踏み出す姿に、逆に勇氣と希望をもらいました。

日々、平穩に家族で過ごせることのありがたさ、自然の力に対し謙虚であること、細心の注意を払い万全の備えをすること、人と人との繋がりを大切にし地域が連携していくこと。この大災害の教訓はたくさんあります。今年、困難をバネに、

### 一病息災で長生きを

青山 勝豊 (昭和15年生)



龍のように力強く立ち上がったいく。そんな明るい一年になるよう、足許から努力したいと思えます。

迎えることが出来ました。私が生まれた年は皇紀2600年、西暦1940年、昭和15年で「辰」年です。「辰は」天に昇ると言われ、また邪気を払うといわれます。12支の中でただ一つ架空の動物として入るのが「辰」です。現在の日本は、政治、経済、すべてがうつむき加減です。「辰」の力で顔をあげるようにしたいものです。

私は昭和34年に就職し、最初の健康診断で高血圧であることが判明し、以来半世紀降圧剤の服用をしています。5年前に精密検査を受け、循環器障害が見つかり大動脈瘤及び動脈弁の人工弁置換手術を受け20日後に腹部大動脈瘤の人工血管置換手術と大きな手術を2回受けました。現在16種類の薬によって生かされています。これからもこの病氣と仲良く、地域の皆

### お陰様で

高島 清典 (昭和3年生)



様のお世話になりながら、一病息災で暮らして生きたいと思ふ毎日です。

が出来ました。現在までを振り返ってみると、在学中、数え年十八歳で海軍の予科練に入隊し、六か月で終戦、復学して卒業。それから丸四十一一年間の公務員勤務。退職後は、農業に従事の傍ら、周りの方々に支えられて地域のお世話もさせて頂きました。南山見地区の民生福祉の向上には、皆様方と一緒に頑張って力を尽くしました。当地区は、先輩各位のご努力で、当時「ミニ託老所」の先進地として認められ、平成十二年三月北日本新聞社大ホールで行われた県の社会福祉大会で実績発表をしたことには忘れ難い思い出であります。(現行の「ふれあいサロン」の前駆的事業として評価) いずれにしても、地域の皆様、家族一同、みんなで支えて頂いたことに心から感謝して、一日でも元気に老後を過ごしたいものです。

# 新年の集い

恒例の南山見地区「新年の集い」が一月四日午後六時から、公民館において盛大に開催されました。

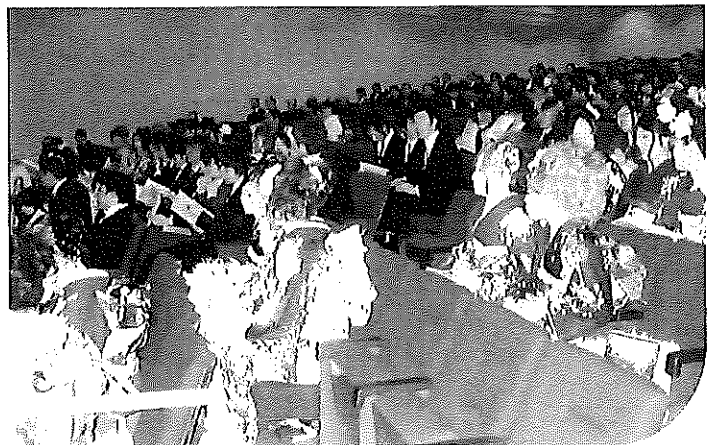
今年も竹谷井波行政センター長、才川市議をはじめ多数のご来賓をお招きし、澤田自治振興会長の挨拶で開会しました。高瀬公民館長の乾杯の発声で祝宴が始まると、各テーブルから多くの談笑が聞こえ、皆さん時が経つのも忘れて歓談されました。

今年も公民館行事を通して地区の皆様が健康で充実した一年を過ごせますよう努力していきたいと思えます。よろしくお願ひします。  
(事務局)



## 成人をお迎えるみなさん おめでとうございます

井波地域成人式は、1月8日、井波総合文化センターにおいて開催されました。ご来賓や家族の方々にもご来場いただき、天候にも恵まれすばらしい成人式となりました。




この地区では、六名が成人式を迎え大人の仲間入りを致しました。来賓の方々より祝辞を賜わり力強い交通安全宣言で締めくくられ、式を終えました。その後、成人者の企画で始まった成人の集いでは、小学校・中学校の友達、先生との思い出のスライドが写され、会場から笑い声や歓声が上ががり、終始なごやかな雰囲気でした。  
先生方より、思い出の話、お祝いの言葉をいただき、ふっと涙する場面もあつたようです。とても心に残る成人式でした。今年も公民館よりささやかな記念品を進呈致しました。

(事務局)



南 山 見 地 区 体 育 祭

第34回



第34回南山見地区体育祭が、怪しい天候の中グラウンドで開催されました。

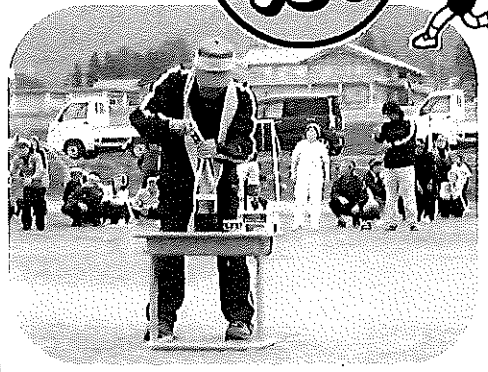
我々5組は、他の組同様、選手選考に悩みました。小学生はスポ少でない、20代も少ない。結果、60歳以上に負担をかけてしまいました。体育祭当日、監督・副監督には優勝の2文字はなく、こられた方全員が平等に競技に参加していただけに

よい、と思っていました。

競技は、満水レースから始まりましたが、心配していた雨が降ったり止んだりと不安定な天候で、選手の方々からも「寒い、やめればいいのに」と消極的な意見が出はじめていました。玉入れが終わった時点で、役員の方が「5組トップ」と言われましたが、我々は優勝目指すことなく、選手選考に悩んでいました。

百足レースの前に監督会議があり、天候が回復する気配がないことから、百足レースで競技終了の判断となりました。結果、5組が優勝となりました。雨が味方してくれたことと、食欲に競技に参加したことが優勝につながったのだと思います。今回は、志半ばで競技は終わってしまいました。来年は最後まで競技して、純粋な優勝を勝ち取りたいと思います。最後に、役員や関係者の方々、大変ご苦労さまでした。

(5組監督 前川 聡)



# 和やかに初釜

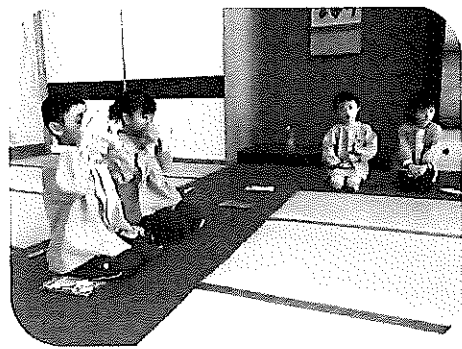
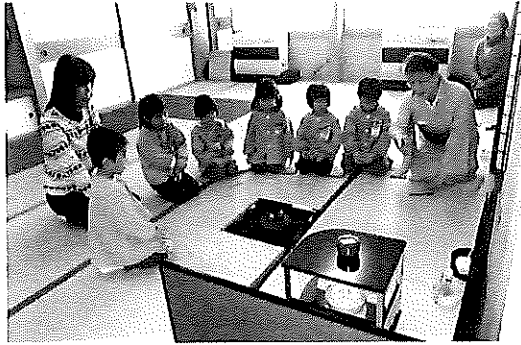


毎年、お正月に行われている南山見保育園の年長児・年中児による初釜が、今年も1月10日(火)に南山見公民館で行われました。

毎月1回、保育園ではお茶会が行われていますが、この日は初釜とあって、日頃の様子の違いにみんな緊張気味。床には掛け軸に生け花と香合、そして結び柳が飾られ、新年の華やかな雰囲気が出されています。

指導をしていただいている

亀田、木下先生に、「よろしくお願いします」と心を落ち着かせる挨拶から始め、先生からは、結び柳についての解説がありました。それは「みんな、仲良く手をつなぎましょう」というものであり、子ども達は「へえー、そんがやー」と神妙に聞いていました。また、いつもと違い、炉の炭火や大きな釜にも目を輝かせ、先生からの「右足から立ちましょう」「の字でお茶を点ててね」の優しい言葉で和やかに新春の初釜



を迎えることが出来ました。このお茶会をはじめ、いろいろな行事で子ども達が地域の皆さんから多くのことを学ばせて頂いていることに感謝し、地域の絆の大切さが分かるよう成長してくれることを願っております。

(南山見保育園 西能春美)

12月17日、児童クラブと母親クラブと「井波花とみどりの少年団」で、花壇づくりとクリスマス会が行われました。

前日から降り続けている雪の中、グリーンキーパーの方々と一緒に、春にきれいな花が咲くのを楽しみに、プランターにチューリップの球根を植えました。



# 花壇づくりとクリスマス会




クリスマス会では、ツリーをきれいに飾りつけたあと、ケーキを食べました。

その後、ビンゴゲームで盛り上がった後、サンタクロースの登場に、子供たちは大喜びでした。

皆で一足早いクリスマス会を楽しみました。(母親クラブ 前川奈美)





**受賞おめでとうございます**

平成23年11月22、23日に金沢市アートシアターいしかわに於て、第55回現代学生読書大会があり、当公民館少年研修館書道教室からも参加出品致しました。成績は次の通りです。

秀作賞	六年	山田 太一
特選	五年	山田 理人
特選	四年	箭原 希美
銀賞	二年	井上 幹太
銀賞	二年	岩崎 開登
銀賞	二年	谷田 咲来
銀賞	二年	前田 平慈

# 受賞

富山県防犯協会々長 表彰  
富山県警察本部長

南山見地区防犯組合

組合長 澤田 武夫

環境省水・土壌環境保全活動功労者表彰

七村郷Vセブン委員会

会長 前川 哲郎



**2月9日 (木)** 午後7:30~

公民講座

南砺市国際交流員

講師 ウィル・モーアさん

演題 「アラスカ人：  
-40度に生きること」

**2月26日 (日)** 午前9:00~

第24回 南山見地区  
「三世代交流の集い」



ご寄付  
南山見婦人会様  
一、金貳万円也  
(備品費として)  
ありがとうございました

米寿  
おめでとう  
ございます  
沖池田好作  
※前号の館報で記載もれがありました。心からお詫び申し上げます。

## 南山見人口

男	507名	( 564名)
女	554人	( 583名)
計	1,061人	(1,147名)

平成23年12月31日現在  
( )は昨年度

(池田喜昭)

今年は、地区住民一体となつて、無火災・無災害の地区づくりに心新たに取り組んでいきたいものです。

昨年は、永らく無災害が続いていた南山見地区において、火災が発生し、尊い命が奪われました。

## 編集後記

